

平成21年10月2日

貧酸素水塊速報 (2009年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 【協力】 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 千葉灯標モニタリングポスト
 国立環境研究所

(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成21年9月29日観測結果

内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

貧酸素水塊は内湾北部に引き続き分布していますが、南部では解消していました(図1)。また、北部でも貧酸素水塊の厚さは最大5m程度であり、2週前の調査よりかなり薄くなりました(図2)。このため、貧酸素水塊の規模は10%以下で、例年よりかなり規模は小さくなっています(図3)。

表層の水温は23 前後でした。また、ほぼ全域が褐色を呈していました。

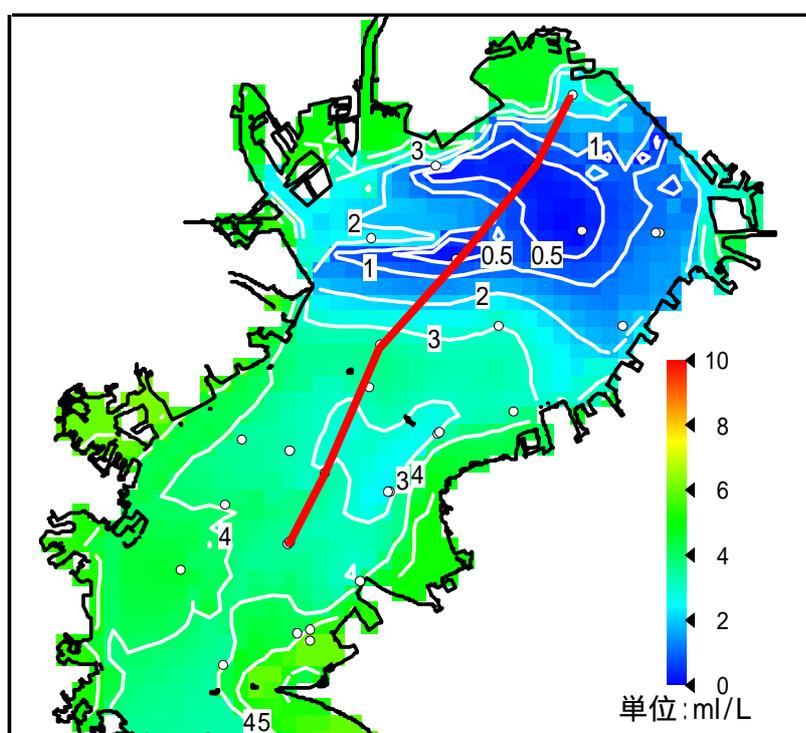


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

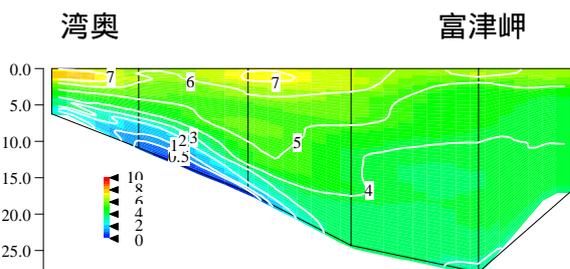


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

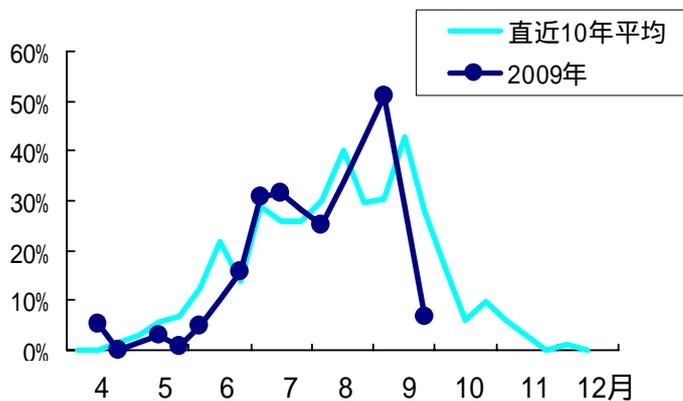


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)